

2012年5月18日

おい町長
時岡 忍 殿

おい町住みよい町造りの会
おい町本郷124 44
猿橋 巧

連絡先 0770-77-0546

原発問題住民運動福井県連絡会

代表委員 奥出春行、河内 猛
佐藤正雄、多田初江

原発住民運動 福井・嶺南センター

代表委員 河内 猛、坪田嘉奈弥、渡辺 孝
遊津喜由、上原修一、岩本敏行

関西電力大飯原発3、4号機の再稼働について

慎重な判断を求める申し入れ

【請願趣旨】

福島第1原子力発電所の事故から一年以上たちましたが、事故は未だに収束していません。ところが政府は、4月に発足するはずだった「原子力規制庁」も出来ていない中、「暫定的な安全基準」で政治判断し、大飯原発3、4号機を再稼働させようとしています。いま必要なことは、事故の徹底究明とそれにもとづいた抜本的な安全対策と、福島原発並みの事故が起きた時に住民を守る『避難対策』、そして信頼できる第三者による規制機関です。

わたしたちは、4月下旬から5月上旬におおい町の訪問行動を行いおい町民と対話をし約3百人の聞き取りをまとめ7日に貴職へお渡ししました。対話の中でも「現状での再稼働は拙速すぎる。安全が心配」との声が半数を超えました。

ここに対話とともに集めた「関西電力大飯原発3、4号機の再稼働について慎重な判断を求める署名」を提出いたします。

貴職におかれましては、町民のいのちと健康を守るため、安心して住み続けられる町を子ども達に残すため、関西電力大飯原発3、4号機の再稼働について拙速に判断することがないように強く求めます。

【請願項目】

- 1、 関西電力大飯原発3、4号機の再稼働については、住民の声をよく聞いて慎重に判断すること。